

神奈川私学保連 NEWS

神奈川県
私学保護者会
連合会



神奈川県私学保護者会連合会 会長 市川 昌 廣

(横浜学園高等学校 後援会会長)

若き日の選択

高校3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年間の高校生活はいかがでしたか。勉学に励み見事目標を達成した人、クラブ活動で充実した日々を過ごした人、あるいは「そうでもなかったなあ」と、少し悔やんでいる人がいるかも知れません。

先日、ある保護者の会で、卒業予定の生徒のお母さんから、「希望の大学に合格しました」とか、「うちの子はまだ何にも決まっていないので…」などという進路についてのお話がありました。それを聞いていた周りの人は、拍手をしたり、シーンと静まりかえったりしていましたが、その中で、「まだ何にも決まっていないので…」というお話をしたお母さんの思いを察すると、つらい気持ちになりました。それは遠い昔に苦渋を味わった私とダブらせていたからですが、一方では、そのお母さんがお子さんと一緒に失意に陥っているのではないかと心配したからです。

実は私も50数年前、大学受験に失敗し途方に暮れていました。私は自分の浅かな能力を顧みず、自分のレベルを越えた大学を受験し、受験したすべての大学で不合格という烙印を押されました。

当時、東京の郊外に近い町に住んでいた私は3月のある日、失意のまま、自宅から自転車で30分ほどの、田んぼや畑が広がる田園地帯に行きました。そして小

川のほとりの、まだ春のぬくもりがわずかしかなかった土手に仰向けになり、青一色に澄みわたる空を眺めていました。そこは小学生の頃、仲間たちとザリガニ獲りをしたところです。

時々浮遊してくる真綿のような白い雲に目を奪われながら、傍らの小川の心地よい流れに耳を傾けていましたが、私の心の中は鬱々としていました。

「自分はこれからどうすればいいのだろう…」と、嘆息するばかりでした。親しい学友らは希望した大学に合格し意気揚々としていたのですから。

その日、私は石川啄木の、「友がみなわれよりえらく見ゆる日よ 花を買いか来て妻としたしむ」という句を思い浮かべていました。この句は、まだ啄木がその才能を世に認めてもらえず、極貧生活を送っていた頃のもので、啄木の極貧生活の実態は、啄木自らの生き方に起因しているということを啄木が承知していたかは知りませんが、不如意な日々を過ごしている自分が情けなく、孤独と悲しさにうちひしがれたある日、その心を癒すため、めったにしない花を買って帰り、妻としばしの時を過ごしたのでしょうか。あの啄木でさえそんなことがあったのかと、複雑な思いに浸ったのでした。

冒頭でのお母さんに、お子さんは進学か就職かの進路を尋ねたところ、「どちら

にも行きたくないと言っているので困りました」という答えが返ってきて、その言葉が重く感じられました。しかし、人にはそれぞれの歩み方というものがあります。人の能力はみな平等である筈ですが、成長の度合いは異なります。同じ花でも早く開く花もあれば遅れて開く花もあります。咲けば美しさは同じです。早く開けば早く散ります。

若くして進路を決めることは容易ではありません。アスリートや、希に早世する芸術家は別として、一般的には25歳までに生きる道を見いだせればよいのではないのでしょうか。少しずつ経験を積んでいくうちに、「これだー」というものを見つければよいのです。ただしその過程で出くわす課題や責任には逃げずに真摯に取り組む心構えが必要でしょう。

高校卒業生の皆さん、たとい自分の意に沿わない進路を選択したとしても、将来何になるかは別のことです。

読んだ人が多いと思いますが、青春学園小説「青が散る」の作者宮本輝は、それこそ希望した大学ではなく関西の新設大学を卒業して広告会社に就職したのです。やがて神経症の病に苦しみサラリーマン生活に不安を抱いていました。そんな時、ふと立ち寄った書店で某有名作家の短編小説を読んだところ、書かれた文章が「目を白黒させるほど」あまりにひどく、これなら自分の方が良い小説が書けると奮い立ち、28歳で会社を辞め創作に打ち込んだのでした。それからわずか2年足らずで、幼少期のほろ苦い体験を織り交ぜた、「泥の川」(太宰治賞)と「螢川」(芥川賞)を書きあげたのです。

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会

平成26年10月21日(火) 午後3時〜4時30分 パシフィコ横浜 会議センター メインホール

今年度も「神奈川県私学振興大会」を開催しました。

当日は、県知事の黒岩祐治様をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、国会議員22名、県議会議員29名、県知事部局3名に出席していただきました。

また、82校の全加盟校から理事長・校長・教職員及び保護者等966名が出席し、出席者の合計は1,080名となりました。

主催者代表あいさつ

一般財団法人 神奈川県私立中学校高等学校協会

理事長 工 藤 誠 一

(聖光学院中学高等学校理事長・校長)

本日は、お忙しい中、このように多数の皆様にご来場いただきましたことを、厚くお礼申し上げます。また、常日頃よりご指導ご支援をいただいております。本県選出の国会議員の先生方、そして神奈川県政の中で応援していただいております神奈川県議会の先生方、日頃より私学行政という立場でご指導を賜っております。神奈川県民局の皆様方に本日はお越しいただきましたことを、主催者を代表して厚く御礼申し上げます。

皆様もご承知の通り我々神奈川県は近代私学発祥の地です。それぞれ各校が独自の建学の精神をもって、子どもたちのために今日まで教育現場で指導をしてきました。神奈川県民の私学に対する評価と期待は極めて高く、高校生の1/3強が我々の私学に学んでいます。

本県の私学に対しては、平成12年から標準的運営方式が導入され、県内の公立学校の経常費の50%の補助を



お願いしてきました。しかし、平成26年度の都道府県別の私立学校の経常費の助成順位は高校では全国ワースト2位、中学校は全国最下位という状況です。こうした点から私学における財

政状況、これはきわめて厳しい、このように考えざるをえないのが実情です。平成22年度から就学支援金の制度が導入されましたが、保護者の負担感がぬぐわれるものではなく、公立高校に比べて依然として著しい差が生じていると考えざるを得ません。子どもたちの将来が経済的理由で閉ざされてしまふと言ふことはきわめて残念なことです。子どもたちが自分の希望に応じて、選べる、そうした学校選択の自由を確保していくことが非常に大切である。そのように思っています。

本日のこの大会は私学がこれまでも我が祖国日本、神奈川の教育の先駆者としての役割を果たしてきたという自負、これからのわが国、そして神奈川の教育を先導するのだという決意、そして、神奈川私学としての願いと努力を県民の皆様強くアピールすることを目的に開催した次第です。どうぞ、本会場にお集まりの皆様が、この趣旨を理解し強い支持をいただき、そしてそのことがこの神奈川県政に大きく反映され、そして何よりも、その輪が私学で学ぶ子どもたちの大いなる発展につながっていくばと思っております。

どうぞ皆様方これからの私学に、より一層のご支援ご協力を賜りますことを切にお願いして私の挨拶とします。



来賓あいさつ

神奈川県知事 黒 岩 祐 治

神奈川の私学振興大会このように盛大に開催されたこと誠におめでとうございます。私も中、高、予備校、大学も全部私立でした。私立の独自の教育理念、建学の精神、それをしっかり守りながら、それぞれのちがう輝きを示している。そんな私学を私は大好きです。こういう立場になったからには神奈川の私学は、どこよりももっとと輝きを増せるような環境づくりに是非取り組んでいきたいと思っています。

先日土曜日までフィンランドとパリに行っております。神奈川が今進めておりますヘルスケア、ニューフロンティア、超高齢化社会を乗り越えるモデルを作っていく、国家戦略特区にも認められているプロジェクトです。この国際的なネットワークを作っていくというのが今回の旅の目的で、フランスの政府機関とフィンランドのオウル市と連携協定を結んでまいりました。

オウル市はノキアの出たところで、オウルの奇跡と言われたところです。オウル市では女性がものすごく頑張っているということもあり、男性と女性は全く対等である。その結果としてオウルの奇跡を起こしているのだということを知り、我々はオウルから学ぶことがたくさんあったと思いながら帰って来ました。教育といった面もこのイノベーションにどうやってつなぐのっていくか、乗っていきける人材をどうやって育てていくのか、これは大きな課題であると私は思います。教育の最前線の中で子どもたちと先生たちが本当にせめぎ合いながら新しい時代をつくっていく、そんな教育環境をぜひ実現するために、私も支援していきたいと思っています。

いろんな意味でイノベーション、我々の発想の転換といたことを含めながらこういった問題にも向き合ってください。そんなことと思う次第です。今後とも素晴らしい私学がこの神奈川からどんどん光を発するように心から祈り申し上げます。

私の挨拶といたします。



私立中学校高等学校振興大会 決議・保護者の願い

保護者会代表 前迫 由香

(横浜富士見丘学園中等教育学校 PTA副会長)

本日は黒岩神奈川県知事をはじめ、国会並びに神奈川県議会の議員の先生方にはお忙しい中をご臨席賜りまして誠にありがとうございます。日ごろから私共の子どもたちが学ぶ私立学校教育の振興、発展にお力添えを頂き心から感謝申し上げます。さて、現在私立学校と、そこに学ぶ子どもたちを取り巻く環境は様々な課題を抱えております。そうした中で私どもが私立学校の保護者として、切に望みますことは何よりも子どもたちが安心して学ぶことのできる充実した教育環境の整備でございます。もとよりわが国の将来や神奈川県内の郷土発展のために、子どもたち一人ひとりが立派に成長し、社会の役割を担えるよう育てることは、私ども保護者の責任でございます。

一方私立学校の保護者として、何よりも第一に望みますことは、子どもたちのそれぞれが自分の能力や希望に応じて、自ら選択した学校で充実した教育が受けられることでございます。私ども保護者はさまざまある学校の選択肢の中から、私学の独自の教育方針に賛同し、子どもによかれと考え私学に学ばせております。しかし経済的にゆとりのある家庭ばかりではありません。ぜひとも家庭の経済状況により、自由な学校選択が妨げられることのないよう、私立学校保護者へのさらなる学費負担の軽減策をお願いしたいと思います。そして同時にこれまでに以上によりよい教育が受けられますよう、各学校に対する私学助成補助が充実したものになりますことを望んでおります。何よりも予算額が確保されますことが、私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境を整備する上で必要不可欠なことと考えておりますので、よろしく願いたします。



本日私立学校関係者並びに私ども保護者は、私立学校に学ぶ子どもたちの教育環境の一層の改善充実と、私立学校保護者の学費負担軽減のために、次の3点について決議し、ここにその速やかな実現を望みます。

- ご臨席の議員の先生方におかれましては、なにとぞ指導とお力添えをよろしくお願い申し上げます。
- 一つ、私立中学校高等学校の経常費補助に対する補助率2分の1の継続と補助単価の充実、増額
 - 一つ、保護者負担教育費の公立と私立学校間の格差是正と負担の軽減
 - 一つ、私立高等学校等の全施設の耐震化に向けた、国公立学校と同等の財政支援拡充と実施
- 以上でございます。



国会議員・県議会議員出席者(本人または代理)

(1) 国会議員(衆議院) 16名

氏名	党派	選挙区	備考
青柳陽一郎	維新の党	比例区	
甘利明	自由民主党	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	
上田勇	公明党	横浜市旭区・保土ヶ谷区	
小此木八郎	自由民主党	横浜市鶴見区・神奈川区	
小泉進次郎	自由民主党	横須賀市・三浦市	
坂井学	自由民主党	横浜市戸塚区・泉区・瀬谷区	
椎名毅	維新の党	比例区	
菅義偉	自由民主党	横浜市中心区・港南区・南区	
鈴木馨祐	自由民主党	横浜市港北区・都筑区	
田中徳	自由民主党	川崎市川崎区・幸区・中原区	
中山展宏	自由民主党	比例区	
星野剛士	自由民主党	藤沢市・高座郡寒川町	
松本純	自由民主党	横浜市中心区・磯子区・金沢区	
山際大志郎	自由民主党	川崎市高津区・宮前区	
義家弘介	自由民主党	厚木市・愛甲郡愛川町・清川村	
笠浩史	民主党	川崎市多摩区・麻生区	代理

(2) 国会議員(参議院) 6名

氏名	党派	選挙区	備考
金子洋一	民主党	選挙区制	
佐々木さやか	公明党	選挙区制	
島村大	自由民主党	選挙区制	
中西健治	みんなの党	選挙区制	
牧山ひろえ	民主党	選挙区制	
松沢成文	みんなの党	選挙区制	代理

(3) 県議会議員 29名

氏名	党派	選挙区
赤野たかし	維新の党	横浜市青葉区
新井綱世	自由民主党	横浜市磯子区
飯田誠	県政会	高座郡
市川よし子	民主党・かながわクラブ	川崎市幸区
梅沢裕之	自由民主党	横浜市神奈川区
浦道健一	民主党・かながわクラブ	横浜市港南区
小川久仁子	自由民主党【副議長】	川崎市高津区
加藤元弥	自由民主党	横浜市西区
亀井貴嗣	公明党	横須賀市
茅野誠	民主党・かながわクラブ	横浜市磯子区
軽部和夫	みんなの党	横浜市神奈川区
岸部都	民主党・かながわクラブ	横浜市南区
久坂誠治	みんなの党	横浜市戸塚区
楠梨恵子	みんなの党	横浜市栄区
小林大介	みんなの党	相模原市南区
齋藤健夫	民主党・かながわクラブ	藤沢市
作山友祐	民主党・かながわクラブ	横浜市中央区
佐々木正行	公明党	相模原市中央区
佐藤知一	民主党・かながわクラブ	厚木市
杉山信雄	自由民主党	川崎市川崎区
高橋稔	公明党	横浜市港南区
竹内英明	自由民主党	横須賀市
田中徳一郎	自由民主党	川崎市幸区
中村省司	自由民主党【私立学校審議会会長】	鎌倉市
原聡祐	自由民主党	横浜市中心区
松田良昭	自由民主党	横浜市戸塚区
三橋政雄	自由民主党	横浜市中心区
森正明	自由民主党	横浜市南区
山本俊昭	県政会	座間市

平成27年度

私学助成の概要

神奈川県次世代育成部私学振興課

私学助成につきましては、県教育における私立学校の果たしている役割や県内百九万人の児童・生徒の約二十五％に当たる二十七万人が在学していることを踏まえ、

- ①教育条件の維持向上
 - ②児童生徒の修学上の経済的負担の軽減
 - ③学校運営の健全性の向上
- の三つを柱に様々な助成を従来から行っています。平成二十七年の概要は次のとおりです。

一 当初予算編成方針

「かながわ成長戦略実現予算」と位置付け、財政健全化に向けた取組みを着実に推進するとともに、県民の安全・安心の確保や、新たな子ども・子育て支援制度などにしっかりと取り組み、成長戦略の実現に向けた、神奈川県から経済のエンジンを回す、予算編成が行われました。

こうしたことを踏まえ、保護者の学費負担の軽減を図るため、私立高等学校等生徒学費補助について、国の就学支援金の制度変更に合わせて、年収約二百五十万円以上五百九十万円未満の新一年生の世帯について、補助単価を増額するとともに、新一年生の年収七百五十万円未満の世帯については、入学金の補助単価の充実を図ります。

二 一般会計

本県の平成二十七年一般会計当初予算は、一兆九千四百九十五億一千万円で、二十六年当初予算に比べ、八千四百五十億三百万円、四・五％の増となっています。

三 私学振興費

私学振興費につきましては、子ども・子育て支援新制度の実施により、認定こども園に対する給付を市町村が行うこととなりましたので、六百五億一千五百四十三万九千円で、前年度に比べ、十五億五千五百四十三万二千円の減となっています。

(一) 経常費補助

私立学校の経常的な経費に対する助成は、標準的運営費方式と補助率を維持しておりますが、子

ども・子育て支援新制度の実施により、四百四十五億五百九十八万九千円で、前年度に比べ、九億六千八百六十五万六千円、二・一％の減となっています。校種別では、**高等学校**は、百九十二億九千五百九十万三千円で、前年度に比べ、一・七％の増となっています。

中等教育学校は、六億一千二百五十七万七千円で、前年度に比べ、三・四％の減となっています。

中学校は、五十二億九千五百八十二万二千円で、前年度に比べ、〇・七％の増となっています。

小学校は、二十一億五千四百二十九万五千円で、前年度に比べ、一・九％の増となっています。

(二) **私立高等学校等就学支援事業・生徒学費補助**
家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る事業で、予算額は、就学支援金と学費補助を合わせて、百十八億六千六百六十七千円で、前年度に比べ、三・一％の減となっています。

就学支援金においては、昨年度からの制度変更が継続し、新一年生についても年収約九百十万円以上の世帯に対して所得制限が適用される一方、年収約五百九十万円未満の世帯に対して五万九千四百円、加算額が増額することとなりました。

生徒学費補助においては、就学支援金の制度変更に合わせて、新一年生の世帯に対して補助単価を増額し、授業料が県内私学の平均である年間四十二万円の高校に進学した場合、年収約二百五十万円以上三百五十万円未満の世帯について、授業料の月あたり負担額が二千万円、年収約三百五十万円以上五百九十万円未満の世帯について、授業料の月あたり負担額が一千万円で済むよう、支援の充実を図ることといたしました。

また、新一年生の年収約七百五十万円未満の世帯については、入学金について、最大で十万円まで補助を行うよう、補助金の拡充を行いました。

(三) 私立学校生徒学費緊急支援事業費

保護者の失職や倒産等により、家計が急変した児童・生徒の学費負担の影響を軽減するため、授

業料を軽減した私立高等学校等に補助するもので、予算額は、二千二百三十万六千円で前年度に比べ、十三・六％の減となっています。

(四) 被災児童生徒就学支援補助金

東日本大震災により被災した幼児児童生徒の授業料等減免措置を行った私立学校の設置者に対して補助するもので、予算額は、三千三百五十万六千円で前年度並の予算となっています。

(五) 私立学校施設耐震診断調査費補助

児童生徒等の安全確保と災害時の近隣住民の避難施設としての公共性を考慮して、耐震診断調査の促進を図られるよう学校施設の耐震診断調査費の一部に対し補助するもので、予算額は、一千二百七十七万二千円で、前年度に比べ、十四・九％の減となっています。

(六) 私立学校教職員退職金制度補助金

私立学校教職員に対する退職手当金の給付財源の一部を補助し、教職員の福利厚生への支援を図るものです。予算額は、八億六千六百三十四万一千円で、前年度に比べ、一・二％の増となっています。

(七) 日本私立学校振興・共済事業団補助金

私立学校教職員の福利厚生への支援を図るため、私学共済の長期給付事業の一部に対し補助するものです。予算額は、六億九百七十四万二千円で、前年度に比べ、一・一％の増となっています。

(八) 私学団体助成費

私学保護者会連合会をはじめ私学団体が行っている「いじめ・暴力」関連研修並びに「薬物乱用防止研修」等に対し補助するものです。予算額は、総額で、六百二十万円となっています。

(九) 公私立学校協調事業費

公立、私立の枠組みにとらわれず、公教育を担う公私の高等学校が協調を深め、特色を生かしながら、共に向上できる環境づくりを行うための協調事業として、神奈川の高校展開催事業及び公私教員研修事業等を実施するものです。予算額は、百三十万五千円となっています。

以上が平成二十七年当初予算の主な内容です。今後とも、皆様の私学行政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

平成27年度当初予算私学振興費の概要

私学振興課

事業名等		平成 27 年度	平成 26 年度	比較増減	前年度比	摘 要	
		当初予算額	当初予算額				
〔 〕は内数		千円	千円	千円	%		
1	経常費補助	44,505,989	45,472,645	△ 966,656	97.9	教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取組みに対し助成する。	
(1)	高等学校 〔教育改革推進費〕	19,295,903 111,460	18,979,046 121,310	316,857 △ 9,850	101.7		
(2)	中等教育学校 〔教育改革推進費〕	612,577 4,080	634,222 3,990	△ 21,645 90	96.6		
(3)	中学校 〔教育改革推進費〕	5,295,182 55,260	5,256,010 47,540	39,172 7,720	100.7		
(4)	小学校 〔教育改革推進費〕	2,154,295 19,200	2,115,145 17,160	39,150 2,040	101.9		
(5)	特別支援学校	508,019	496,091	11,928	102.4		
(6)	幼稚園 〔預かり保育推進費〕 〔地域開放推進費〕	15,287,652 644,600 192,800	16,718,471 716,210 188,400	△ 1,430,819 △ 71,610 4,400	91.4		
(7)	専修・各種学校	1,352,361	1,273,660	78,701	106.2		
2	私立幼稚園特別 支援教育費補助	1,678,936	1,622,880	56,056	103.5	障害のある幼児と共に学び、共に育つ保育を推進するため、障害のある幼児を受け入れる幼稚園に対し助成する。	
3	高等学校等就学 支援事業費	8,267,427	8,959,537	△ 692,110	92.3	家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、高等学校等就学支援金及び生徒学費補助により、家庭の教育費負担の軽減を図る。 (就学支援金主な制度変更) 新1・2年生適用 年収 910 万円以上世帯所得制限 年収 590 万円未満世帯加算支給、など (学費補助金の制度変更) (国の制度変更に合わせて新1・2年生に適用) ・授業料 (単位:円)	
4	私立高等学校等 生徒学費補助	3,594,180	3,284,669	309,511	109.4		
(1)	高等学校等	3,417,291	3,101,864	315,427	110.2		
(2)	専修学校高等課程	176,889	182,805	△ 5,916	96.8		
5	私立学校生徒学費 緊急支援事業費	22,306	25,823	△ 3,517	86.4	保護者の失職や倒産により、家計が急変した生徒等への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立高等学校等に対し助成する。	

研修事業Ⅰ

「山梨県リニア見学研修ツアー」実施

●平成26年11月11日(火)

神奈川県私学保護者会連合会 理事 鴨下 博厚
(洗足学園中学高等学校 洗足会会長)

今年の研修事業は、山梨県都留市にある「山梨県立リニア見学センター」でのリニアモーターカーの実験線の見学と、甲府駅北口にある商業施設「甲州夢小路」の視察を行いました。参加者数は、保護者会連合会と交流会の方々の約八十名で、横浜駅前からバス二台に分乗して出発しました。

往路では、圏央道に六月二十八日にオープンしたばかりの厚木パーキングエリアに立ち寄りしました。ここはトイレスペースの快適性を重視した施設で、最近のパーキングエリアの充実ぶりにとっても驚きました。その後、大月インターチェンジから目的地であるリニア見学センターへと向かいました。



リニアモーターカーは、新幹線の次の超高速鉄道として昭和三十七年に研究が開始され、昭和五十二年から宮崎で走行実験を重ね、平成九年からは現在の山梨県に実験場を移して走行試験を続けています。平成二十三年には全国新幹線鉄道整備法に基づき、中央新幹線の整

備計画が国土交通大臣により決定され、平成二十五年には山梨実験線の総延長を42.8キロメートルに延伸して車両開発や技術開発を行なう



と同時に、起伏に富んだ地形や環境の中での実験を繰り返しています。

見学した日はあいにくの小雨模様の天気でしたが、ちょうどリニアの走行試験を行なっていた、時速400キロを超える速度で目の前を通過する姿を見学することができました。平成三十九年の開業までにはまだまだ解決すべき課題もあるようですが、個人ではなかなか見に行く機会が無いであろう施設の見学ができたことは、研修事業としてとても有意義であったと感じています。

その後、甲府市にある「幸せの丘 ありあんす」で昼食をとり、甲府駅北口に開発された商業施設「甲州夢小路」を視察いたしました。ここは、甲府駅北口に隣接する場所に複数の商業店舗を集積したもので、古民家の移築や江戸時代に現存した「時の鐘」を復元するなど、昔の甲府の城下町を再現した街並みとなっています。平日にもかかわらず来訪者も多く、山梨・甲府の特色を生かした物産を

扱っている各店舗は、とても賑わいを見せていました。今後、観光資源を生かした地域経済の活性化等を考える上で、この商業施設の動向は注目する必要があるかもしれません。帰路のバスでは参加者が打ち解けた様子で会話が弾み、施設の見学だけでなく、参加者同士の交流を深める場としても良い機会であったと感じました。

研修事業は私学保護者会連合会と交流会の共催で、毎年行なわれています。今回も各学校から多数ご参加をいただき、ありがとうございました。次年度も有意義で魅力のある研修を企画してまいりますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

最後に、研修事業の無事終了にあたり、共催いただいた私学保護者会交流会、私立中高協会の事務局、関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。



バス車内でのアンケート結果

○今、興味・関心のあるものはどれですか。

・教育問題 15
 ・趣味 9
 ・メンタル・健康 17
 ・芸術関連 26

○山梨リニア見学研修、についての意見

・個人では行けない企画。リニアの走行は感激した。(22)
 ・楽しい1日でした。(14)
 ・食事は肉のみであった。野菜が少ない。(4)
 ・食事(バイキング)は良かった。(3)
 ・名物料理等、食べ放題以外が良かった。(2)
 ・甲州夢小路は良かった。(2)
 ・交流会として、解るようにリボン等。(1)
 ・帰りにお土産を。(1)



幸せの丘ありあんすにて

「第2回首都圏私学問題

連絡協議会」を開催

●平成26年11月12日(水)

11月12日(水)、横浜駅東口の崎陽軒本店において、東京・千葉・埼玉・神奈川の1都3県の私立中学高等学校協会役員と、教育委員会および私学担当課代表が集まり、「第2回首都圏私学問題連絡協議会」を開催しました。

この会議の第1回は毎年6月に東京の私学会館で開催されています。第2回を千葉・埼玉・神奈川の3県で順番に担当することになっていますので、神奈川県で開催するのは3年ぶりになります。

会議の議題は、

(1) 平成27年度の公立中学校高等学校の生徒募集と入試日程について

(2) 各都県の私学振興助成対策(要望書等)について

(3) 各都県からの提出議題について

① 鹿児島県立楠井中学校・高等学校の出張入試

② 各都県の「就学給付金制度」

となっております。

当日は、東京23名、千葉12名、埼玉14名、神奈川25名の合計74名が出席し、熱心に情報・意見交換を進めることができました。神奈川県からは工藤理事長(聖光学院)と、田沼生徒募集対策委員長(横浜学園)から意見を発表しました。

特に、平成27年度の入試から鹿児島県立の中高一貫校が鹿児島県外(東京、大阪、福岡)を会場にして入試日程を他県より早め設定し、生徒を募集することについて、反対する意見が多く出されました。



特色ある私学の充実に向けて

保護者会 浅見昌宏

毎年12月に東京都日比谷公会堂で実施される全国規模の私立小中高等学校、私学振興全国大会は11月21日衆議院が解散されたため中止となりましたが、一昨年より10年ぶりに再開された神奈川県私立中学校高等学校協会、私学保護者会連合会主催による神奈川県私立中学校高等学校振興大会では、私学の決意と努力を伝えることができました。

私立学校は、建学の精神を持ち独自の教育方針により、学力面はもとよりスポーツ活動や文化活動でも成績を上げるなどし特色ある教育を積極的に提供する魅力がある学校が多くあります。

しかし、私立学校で教育を受けるためにはどうしても教育費負担の増加をまねきます。仮に本人が、あの学校へ入学したいなど希望があったにせよ家庭の経済的負担が許さない場合もあるのではないのでしょうか。また教育費負担については、私立学校等への就学支援制度はあるものの入学金、授業料など公私間格差があることについては大きな問題と捉えています。

一方、神奈川県私学が国から受ける経常費助成金の配分も全国都道府県の中でも厳しい状況下におかれており、今年度は最下位、高等学校でワースト2位であり平均経常費助成金の額を大きくしたまわっています。これでは、神奈川県私学が目指すより良い教育環境作はできないと感じます。

神奈川県は近代私学発祥の地です。いま一度、神奈川の私学教育を築きあげた力を取り戻し、教育の充実と発展に向けて様々な格差は進まぬよう、皆様方のご支援と共に活動して

いきたいと思いますので、どうぞ、よろしく願います。



この一年を振り返って

保護者会 深谷祥子

私学保護者会連合会の理事に就任して早1年になるうとしています。この1年間、毎月の理事会、諸行事に出席して、まだまだ理解不足ではありますがようやく流れをつかんできたところです。

毎月の理事会では、活動や行事への取り組み、協議がなされています。また、16の関係団体へも全役員が分担しています。私は、神奈川県社会環境健全化推進会議の担当となり、7月の「青少年の健全育成を進める県民大会」への出席、街頭キャンペーン活動に参加してまいりました。この健全育成推進会議のほかに、いじめ、暴力、交通安全、喫煙、飲酒、薬物などなど今を生きる子どもたちの成長を阻む諸問題に対応するべくあらゆる角度から協議活動している団体があり、大勢の方々が参画し活動されていることを知りました。

また、関東地区私学保護者会、研修会への参加、県議会議長への請願など、これまで学校という枠のなかで、保護者としてお手伝い協力してきたつもりでしたが、保護者だけでなく県、国につながる大きなつながりで子どもたち教育の場が支えていただいていたことに気がつき、こうした場に参加できたことに感謝いたします。

10月に開催された私学振興大会では、これまで私学Ⅱ学費は当たり前と気になっていませんでしたが、学費や生徒一人当たりへの補助が、未来を担う子どもたちにどう関わるか、改めて考える機会をいただきました。全国大会は選挙によって中止となってしまうことがこうした活動が公私間格差の解消や学びの場の充実につながっていくことを知りました。

こうして振り返りますと本当に何も知らず考えずに過ごしてきたことを痛感いたします。そして、こうした活動は、私学保護者の皆様方のご協力のもとになされています。

考えたりやっと気づいたり的一年でありましたが、たくさんのお会いや経験を重ねさせていただき感謝しています。今後も皆様のご理解とご協力のもと、さらに努力して活動していきたいと思います。



「私学振興全国大会」が中止となる

平成26年度の「私学振興全国大会」は、12月2日(火)に東京の日比谷公会堂で開催する予定でしたが、中止となりました。

主催者である日本私立中学高等学校連合会の発表によると、中止の理由は「衆議院の解散により12月2日が衆議院総選挙の公示日となることから、やむを得ず中止する」ということでした。

この「私学振興全国大会」に際して、多くの学校の保護者の皆様から参加申し込みをいただきました。(12校から79名の申し込みあり)ご協力ありがとうございました。

平成27年度の「私学振興全国大会」は、12月1日(火)に日比谷公会堂で予定されておりますので、よろしくお願ひします。

平成26年度第2回研修事業

池田香代子さん講演会



日時 平成27年2月19日(木)
14時00分～15時50分
会場 崎陽軒本店(横浜駅東口)
4階 ダイナステイ

内容 池田香代子さん講演会
「世界がもし100人の村だったら」
～100人の村、
あなたもここに生きています～」

■主な著書

『世界がもし100人の村だったら』
『世界がもし100人の村だったら2』
『世界がもし100人の村だったら3 (たべもの編)』
『世界がもし100人の村だったら4 (子ども編)』
『世界がもし100人の村だったら5 (完結編)』
『黙っていらねえ!』
『やさしいことばで日本国憲法』
『すべての子どもたちのために子どもの権利条約』

主な行事への出席

◆10月16日(木)

神奈川県交通安全対策協議会
*かながわ県民センター
(市川監事)

◆10月20日(月)

自民党神奈川県支部・政経文化会議
*横浜ロイヤルパークホテル
(市川会長、佐藤副会長・深沼会計理事)

◆10月21日(火)

神奈川県私立中学校・高等学校 振興大会
*パシフィコ横浜 会議センター メインホール
(議員51名、県知事部局3名、学校参加966名、
合計1080名)

◆11月11日(火)

研修事業Ⅰ「山梨リニア見学研修ツアー」
*山梨県リニア体験館
(保護者会59名、交流会20名)

◆11月18日(火)

かながわ青少年社会環境健全化推進会議
*J P 川崎駅
(鴨下理事)

◆11月29日(土)

かながわ青少年社会環境健全化推進会議
*日産スタジアム
(深谷理事)

◆12月2日(火)

中止、私学振興全国大会
*日比谷公会堂

◆12月2日(火)

松田良昭かながわ元氣フォーラム
*ロースホテル横浜
(市川会長、佐藤副会長・深沼会計理事)

◆12月3日(水)

聖光学院中学高等学校新校舎落成式展
(市川会長、佐藤副会長、他役員4名)

◆12月19日(金)

神奈川県交通安全対策協議会
*かながわ県民センター

(市川監事)

◆12月21日(日)

浅野学園体育館・図書館落成記念式典
(事務局)

◆1月7日(火)

黒岩祐治君を励ます会2014
*横浜ロイヤルパークホテル
(市川会長、佐藤副会長、他役員5名)

◆1月30日(金)

神奈川県交通安全対策協議会
*ポートピア横浜
(市川監事)

◆2月3日(火)

神奈川県交通安全教育推進会議
*神奈川県総合医療会館
(金子監事)

◆2月4日(水)

神奈川レジ袋削減実行委員会
*波止場会館
(前泊理事)

◆2月19日(木)

研修事業Ⅱ
「100人の村あなたもここで生きてます」
池田香代子氏講演
*崎陽軒本店

これからの行事予定

◆5月12日(火)

平成26年度保護者会連合会「会計監査」
*私学会館
(深沼・原会計幹事、金子・市川監事)

◆5月22日(金)

平成27年度「定時総会」
*私学会館

◆7月17日(金)～18日(土)

日本私学保護者会連合会総会
*東京都

◆8月28日(金)

関東地区私学保護者会連合会・代表者会
*三井ガーデンホテル千葉